

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870501230
法人名	医療法人社団久和会
事業所名	グループホーム桜
所在地	愛媛県新居浜市船木甲3656番地8
自己評価作成日	平成22年10月4日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年10月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

介護老人保健施設に併設したホームであり、緊急時には医療面での応援体制が安心です。入所を希望される御家族も、選択理由の一つとして挙げられている。少しでも元のご自分を取り戻して頂けるよう、誠心誠意介護させていただいている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

●介護相談員の方に、利用者が「頭を使ったり手先を使ったりするのが好き」と話されたことを、ご家族にもお話して介護計画に採り入れ、ご家族にぬり絵を持って来ていただいたり、ちぎり絵や将棋等ができるよう準備して支援されていた。
●利用者楽しく入浴していただくために、職員は、入浴の順番をくじで決める等されていた。「あみだくじ」や「割り箸くじ」を引いてもらうことで、入浴を楽しみにされる方も増えたようだ。浴槽に滑り止めマットを敷き、椅子に座って体を洗う等、安全で楽に入浴できるようにされている。脱衣所で利用者同士が会うことで「お先に」「ごゆっくり」「一緒してもいいですか」等、コミュニケーションにもなっているようだ。

V. サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23, 24, 25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目：9, 10, 19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18, 38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2, 20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11, 12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30, 31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム桜

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)
氏名 木村信夫

評価完了日 平成22年 10月 4日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 面会に来られた皆さんにもよく見える玄関ホール等に掲示しています。また、詰所内にも掲示し全職員が周知、実践するべく努力しています。	
			(外部評価) 事業所は「以前のご自身を取り戻していただける支援」と理念を掲げて、職員は、毎月の職員会議やユニットごとの会議時に、実践に向けて話し合っておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地元自治会の各種行事への参加で、ホームの存在を認識していただいています。毎年の夏祭りへの相互参加は、年々、盛んになってきました。その他の行事等へも地元の方がお越しいただけるように努力したいと思います。	
			(外部評価) 事業所の夏祭りは、恒例となっており、地域の方も楽しみにしてくださっており、今年は、小学生が自転車であつてくれたり、ご家族、地域の方にも運営推進会議等で案内して、一緒に盆踊りや花火、バザー等を楽しまれた。又、秋祭りには太鼓台が来て、地域の方も集まり見物された。毎月、地域のボランティアの方が着物を着てお茶を点てに来てくださっている。最初は、戸惑う利用者の方が多かったようであるが、現在は、心待ちにされて、お茶を楽しんでおられるようだ。管理者は、以前から地域で「認知症の勉強会をしたい」と声をかけておられ、今年初めて自治会の方達と認知症の勉強会を行い、22名が受講された。管理者は、今後さらに「地域との繋がりを強くしていきたい」と話されていた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 昨年12月に自治会で介護保険に関する講義を行いました。意外と初歩的な内容もご存じでない方も居られます。認知症に対する理解を深めて頂くためにも、こういった機会を増やしたい。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 現場の職員も会議に参加するようになり、直接、ご家族や自治会の方等、参加者のご意見をお聞きしています。また、入居者の皆様の普段の様子や行事での表情や様子、その後の変化等お伝えしています。</p> <p>(外部評価) ご家族、自治会長、民生委員、地域ボランティアの方等の参加をいただき、2ヶ月に1回会議を開催されている。前回の評価結果を受けて目標達成計画に「会議への職員の参加」を掲げて、昨年11月より介護計画作成者の職員も会議に参加されている。又、今後は職員も参加できるよう、すすめていきたいと考えておられた。管理者は、会議にご家族が多く参加して下さるように、17:30から行うようにされている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 市や地域包括支援センターの担当者との連絡・相談に壁はなく、いつでも何でも相談できています。また、行政からは様々な情報発信をいただき、市の担当者には運営推進会議に参加いただいたりし、連携・協力については順調です。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時、市の担当者の方に介護保険について説明していただくこともある。毎月、介護相談員の訪問があり、利用者は、居室でおしゃべりすることを楽しみに待ってられるようだ。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 昨年の外部評価のとき適切なアドバイスを頂戴し、職員一同全力で取り組んでいます。研修に関しても、併設老健と合同で実施し、知識の習得に努めています。</p> <p>(外部評価) 5月に「高齢者の尊厳を守る・家庭から高齢者虐待をなくそう」と題した研修が法人施設で行われ、職員は、施設内での虐待防止についての再確認をされた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 併設の老健施設と合同の全体研修会を実施しており、職員が主体となって行なっています。全職員が交代で研修担当になり、虐待にも様々なケースがあること等、実際に調べ、発表することを通じて知識を身に付け、虐待の防止に全員が取り組んでいます。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 主介護者の高齢化も心配です。ご家族には本制度の存在や利用方法について資料をお渡しするなどして、支援しています。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居前に必ず説明の時間を設け、ご家族に運営規程、重要事項説明書を提示して、内容の説明を行い、同意の上で契約行為を行っています。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 普段から面会時等、お話を伺ったり、何でも言っていただきやすい雰囲気に気をつけています。また、介護相談員制度の利用や運営推進会議へのご家族、職員の参加で、忌憚のないご意見をお伺いし、対応できるようにしています。	
			(外部評価) ご家族が利用者ご本人と散歩される際に「庭の芝生と通路に段差がある」ことに気付かれて、意見を言ってください、段差を解消するスロープを設置された。管理者の提案で、今年からご本人の様子を記入した「生活の記録」をご家族に送るようにされ、ご家族から「イベントをたくさんしていただいているのでびっくりしました」と感謝の言葉や感想をいただいた。夏祭りでは、椅子の設営等を手伝っていただいたり、踊りを踊ったり、利用者と花火をして一緒に楽しまれた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価)</p> <p>常日頃、管理者や計画作成担当者等、各職員に声を掛け、意見を聞いたりし、相談しやすいよう気をつけています。また、毎月の職員会議での意見を重視し、日々の問題点の把握、業務の改善を行い、仕事のストレス、悩みの素にならないように努めています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>職員のアイデアでダンボールに大きく「トイレ」と書き表示されて、トイレの場所がよくわかり失敗することが少なくなった方がおられる。管理者は、職員の話をよく聞いておられ、職員からのケアや業務についての提案を反映していけるよう努めておられる。</p>	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価)</p> <p>給与水準や職場環境など、他のホームと比較しても下回っていることはないと思います。必要なことは現場主任から相談すればほぼ経営者の了解を得ている。労働時間面でも、週40時間労働が遵守され、超過勤務も性格に把握評価し、休暇取得も法定どおり確実に行われ、条件的には問題ないと思います。</p>	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価)</p> <p>老健施設の併設というメリットで、医師、看護師、管理栄養士等から各種の研修を受けています。また、外部の研修にも努めて参加し、内容を他の職員にも伝える等、スキルアップにつなげています。更に、日々の業務を通じた自己研鑽で資格取得を目指すよう勧めている。</p>	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価)</p> <p>同業者も時には来ますが、最近は居宅介護支援事業者がよく来られます。そのケアマネから様々な情報を頂くことも多く、自分のホームとの違いなどを把握できることがあります。できるだけ出向いて行く機会を作って交流を図ります。</p>	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価)</p> <p>最初からご本人と一緒に見学、相談に来られるケースはまれです。私たちは、必ずご本人と共に来られる機会を作っただき、ご本人と直接お話ができるようお願いしています。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 申込段階でまず現状をお聴きし、在宅サービスの確認や紹介なども含めアドバイスしています。順番待ちの途中で現況を伺い、入居が目前となったときには直近の生活状況や、ご希望などを詳しくお聴きしてケアプランに反映すべく、ご本人、ご家族との関係作りに努めています。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) まず、申込の段階でよくお話を伺います。その段階で本当にどのようなことで困っているか、今までの在宅サービスでは対応できなかったのか等をお聞きし、必要としていることを把握しアドバイスするよう努めています。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 日々の生活に必要な活動、特に炊事、洗濯、掃除といった家事等、お手伝いいただけることは出来るだけ参加していただき一緒に行っています。行事の際等、入居者の方が主になって食材を切ったり、どうしたら良いか教えていただくよう努めています。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 全ご家族に1か月の生活の状態をお知らせするようにしています。よく面会に来られる場合は相談もできますが、あまり来られない場合には文書や電話での情報交換を実施して、ご本人とご家族の関係が薄れないよう努めています。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 特に、定期的な面会がご本人の心理状態の安定に大きく作用しています。ご家族が来られた時には、お友達の面会や馴染みの散髪屋通い、墓参りなど今まで習慣となっていた行事ごとへの外出をお願いしています。知人やご近所の方の面会も大分、増えてきています。	
			(外部評価) ご家族と馴染みの散髪店に出かける方もいる。職員は利用者に、以前にお好きだった縫物等ができるようなきっかけを作ったりされている。	「以前のご自身を取り戻していただける支援」の実践に向けて、さらに利用者の馴染みのある人との関係を続けていけるような支援や、馴染みのものを使うことができるような支援等も、力を入れて取り組んでいかれてはどうか。ご家族とも相談しながら、利用者個々の思い出に残っている人や場所を訪ねるような、個別の支援等もすすめていかれてはどうか。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 他人同士の共同生活ゆえ、トラブルは避けられません。しかし、早く気づくことで大事に至ることはありませんでした。仲間意識が強く感じられるようになりました。消極的な方の孤立がないように常に気配り、指導しています。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退去されても、在宅に戻られた場合には、併設老健の通所りハビリをご利用いただくなど、完全に関係が途切れることは殆ど有りません。それだけに、日々の生活支援とご家族との信頼関係構築がいかに大切かを再認識しています。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 面接時のお話以外にも、ご本人に関するレポートを提出していただけるよう、ご家族にお願いしており、ご提出いただける場合も増えてきました。生活歴や何が好きで、どのようなことが嫌いで、機嫌を悪くされるかなど、ご本人の個性の確認に努めています。	
			(外部評価) 入居時、ご家族・ご本人に「ご本人に関するレポート」に、ご本人のこれまでの暮らしについての習慣や好み等を詳しく書いていただき、コミュニケーションを図るきっかけにされたり、生活に採り入れられるよう努めておられる。職員は「レクレーション時や昼食後の時間、できるだけ利用者とお話する時間を作る」よう心がけておられ、個々の思いや意向の把握に努めておられる。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 申込時の面接、入居前のカンファレンス、担当ケアマネからの情報で今までの生活歴、サービス利用歴を把握するよう努めています。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 一日の状態は、早出、日勤、遅出、夜勤といった各職員が詳細に記録し、細かい変化も逃さないように気配りしております。また、その内容をご家族の面会時にお知らせするよう努めています。今年から、1か月の生活状態を文書でお知らせしています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) ご本人やご家族のご希望、ご意見、在宅サービスの担当者であったケアマネージャーさんの話からご本人の状態を反映した介護計画を作成しています。また、入居後のご本人の日々の状況をよく見て、次のカンファレンスでご家族ともよく話し合い、計画内容を見直しています。</p> <p>(外部評価) 介護計画は、入居間もない頃は3ヶ月、その後は6ヶ月毎に見直しをされている。介護相談員の方に利用者が「頭を使ったり手先を使ったりするのが好き」と話されたことを、ご家族にもお話して介護計画に採り入れ、ご家族にぬり絵を持って来ていただいたり、ちぎり絵や将棋等ができるよう準備して支援されていた。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 日々の介護経過記録をご利用者ごとに詳細に記録し、他職員への申し送りをしています。毎日、介護計画に沿った支援ができたか、また効果はどうかを記録に残し、次への参考としています。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) ご本人への支援と共に、それを支えているご家族に対する精神的なフォローも大切であると、職員からもよく声が上がります。また、併設老健での各種の催しへ積極的に参加できる体制や各職種の職員との相談やアドバイス等、単独のグループホームでは出来ないサービス提供も出来ていると思います。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 地域の観光資源、季節の催し、ボランティア活動の導入、介護相談員の導入、更には新居浜人には切っても切れない秋の太鼓祭りへの触れ合い等を通じて、外部との接触を忘れないようにする努力をしています。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) ご本人、ご家族のご希望を最優先した医療機関をご家 族のご協力を受けながら受診しています。	
			(外部評価) ご本人やご家族の希望を聞き決めておられる。緊急時 は、協力医が対応してくれることから、協力医に変更 される方もある。利用者の状態に合わせて協力医が往 診してくださっている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 設立者が医療法人ということもあり、必要な研修や指 導的確な報告や相談が出来ている。また、医療連携 先の看護師や医師の直接の回診等もあり、ホームとし ては適切な受診や看護を確保しています。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 医療法人設立のグループホームであり、入院の受け入 れもスムーズで、病状の情報交換も頻回で、受診時に はご本人の元に様子伺いに行くなど、他の入居者さん との関係も途切れないようにしています。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 入居前の説明時に、この点については十分な説明を申 し上げています。また、このような状況が発生しそ うな場合は、主治医よりご家族に説明をしていただき、 ホームとご家族、医療機関の連携が取れていると思 います。	
			(外部評価) 「医療機関がある事業所だから安心していきます」と言 われるご家族が多く、いざという時には「主治医はど こにするか。事業所で生活できないようになれば施設 入所を望むか」等について話し合っておられる。前回 の評価結果を受けて事業所では、目標達成計画に「設 立母体である医療法人とも協議する。職員の対応に必 要な研修を行う。ご本人、ご家族と納得行く話し合い を行い対応する」と計画を立てておられ、管理者は 「利用者やご家族の希望があれば、事業所で看取りを 行う」と話しておられた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 急変時や事故発生時の緊急連絡や対応についてはマニュアルで研修し、併設の老健とも連携し順調に推移しています。また、連携先病院による指導で特別な症状にも適切に対応できています。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 火災については、日中および夜間を想定した訓練を実施、災害時の避難等については全体職員会で研修しています。大きな災害時には、避難場所になることも考えられることから、地域との連携がお互いの為に欠かせないと認識しています。地元自治会も同様な見解です。 (外部評価) 防災訓練に参加した職員は「消火器の使い方等、わかっているつもりだけ訓練を重ねることが大切だと思う」と感想を話しておられた。事業所付近は、以前水害があり、危険に遭遇した地域でもあり、消防士の指導のもと、職員は「土のう袋」を作る訓練も行われた。	管理者は、事業所は、災害時「近隣の方達の避難場所となるため、地域と協力体制をつくっていききたい」と話しておられた。地域の方も一緒に避難訓練を行う等、さらなる安心・安全に向けて、具体的に訓練を重ねていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 尊厳という点では、プライバシーやプライドの保護は、とても大切なことです。職員会議や、併設の老健施設との合同の研修会を行なっています。研修会では、外部から講師を招き、そうした言葉かけや対応について勉強する機会も確保できています。自分に厳しく、他人に優しくの精神です。 (外部評価) 7月に外部から講師を招いて「利用者とのより良い関係を目指して」と題して研修を実施され、利用者との話し方や接し方の研修を行われた。普段の言葉遣いの反省と適切な言葉遣い、禁句と言われる言葉の再確認をされた。調査訪問時、職員は「～さんお部屋に入ってもいいですか」とご本人に声がけて許可を得て、入室されていた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 極力、「どうですか」「どうしましょうか」とご本人の思いを尊重し、意思を伺う努力を行っています。そういった点では強制したり、個人の思いを無視したりと言うことはなく、したいこと、したくないことを主張してもらい、自己決定を優先しています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 食事や口腔ケアなど、日々の共同生活の中で健康維持等の為に最低限必要なことや、家事のお手伝い等お願いしています。レクの提案などは職員からしますが、その他のことについては、皆さんご意思を尊重して、過ごして頂いています。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 歳を重ねても、綺麗で居たい、あるいは格好よく過ごしたいと誰もが思っているはず。ご本人の希望を尊重し、お手伝いしたり、こうした自己表現が難しい場合には、ご家族の協力や職員のテクニックで、みだしなみやおしゃれ感覚を忘れない手助けに努めています。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 当ホームが老健施設の併設という特徴を活かし、食事の準備を皆さんと一緒にしています。そして、出来る限り皆さんの身の回りの支援に時間を費やせるように体制作りをしています。食事の準備、片付けも生活リハビリでは重要な場面であり、皆さんに助けていただき和やかにしています。	
			(外部評価) 朝食は、それぞれのユニットで食事作りをされている。昼・夕食のおかずは、大皿で届き、取り分けようになっている。ご飯と汁物は、ユニットごとに作り、季節のものがメニューにある時は、職員が話題に取り上げたり、利用者同士で会話がすすみ、楽しい雰囲気を作るよう心掛けておられる。食後はテーブルを拭いたり食器を洗ったり拭いたり、夕食のお米を研いだりと片付けや準備をされている様子がうかがえた。カレーの嫌いな方には肉じゃがにしたり、青魚の苦手な方は白身魚にする等、利用者の好き嫌いに合わせて代替えができるようになっている。法人の給食委員会で利用者からの希望を伝えておられる。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 併設施設の管理栄養士の応援もあり、また体重の極端な増減や主治医からの食事に関する指示等も考慮して、皆さんに適した支援をしています。また、出来ることはご自身でしていただき、介護のしすぎがないように、出来ないところを支援することが重要と考えて対応しています。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 口腔ケアの重要性は十分に認識しています。毎食後、必ず声掛けし、自立されている方、見守りの必要な方、あるいは誘導して介助の必要な方それぞれに忘れず実施しております。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 毎年記述していることですが、おむつ減らしは大変重要な課題と認識しています。声掛け、トイレ誘導、夜間のポータブルトイレの利用など可能な限り行動して排泄の支援をしています。	
			(外部評価) 排泄パターンに沿って職員が声をかけたりトイレに誘導されている。便の出にくい方には、腹部マッサージをする等の支援もしておられる。夜間のトイレが間に合わないことがよくある方は、居室にポータブルトイレを置くことで失敗することが少なくなったような方もある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 管理栄養士の応援もあり、便秘に配慮した食事の工夫が来ています。また、運動不足が便秘の原因になると言われており、ホーム内の歩行訓練やホーム周辺の散歩にお誘いする等、努めています。協力病院とも連携し、早期対応をしていますがすがすがしい日々を過ごしていただけるようにしています。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴を楽しみに待たれる方、入りたくない方といるのですが清潔保持の為にもタイミングを考え、皆さんに機嫌よく入浴していただいています。現状は、皆さん入浴しておられます。会話もはずみ、普段見られない笑顔も見られます。	
			(外部評価) 利用者に楽しく入浴していただくために、職員は、入浴の順番をくじで決める等されていた。「あみだくじ」や「割り箸くじ」を引いてもらうことで、入浴を楽しみにされる方も増えたようだ。浴槽に滑り止めマットを敷き、椅子に座って体を洗う等、安全で楽に入浴できるようにされている。脱衣所で利用者同士が会うことで「お先に」「ごゆっくり」「ご一緒してもいいですか」等、コミュニケーションにもなっているようだ。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 入居者お一人お一人の生活リズムを大切に、見守りや支援をしております。日中の眠りすぎによる昼夜逆転が起こらないように、注意しながら声掛け等も行っていきます。基本的には、皆さん思い思いに過ごせるようにしています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) お薬の服用方法や効能書は周知徹底し、変更時にはしっかりと理解に努めています。不明な点は病院、薬局へ問い合わせをし、服薬管理はしっかりと行っています。また、服薬による状態の変化等が有れば直ちに連絡できるような連携体制をとっています。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) ご本人やご家族から、生活歴や生活習慣のことなどを伺うことで、会話も弾みます。皆さんそれぞれに、手芸や工作等の手作業、カラオケ、料理、洗濯など、お好きなこと、やりがいを感じることがあります。私たちは、お手伝いをお願いしたり、楽しみ事を支援したりしています。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 今年は、ご家族の協力もあり外出の機会は増えたと思います。しかし、ご希望通りにはなかなか出来ません。職員同士で業務改善を行い、機会を増やすように意識し、努力しています。	
			(外部評価) 敷地内の散歩を日常的に行えるよう支援されており、敷地内の芝刈りは業者に定期的に依頼し、散歩がしやすいように気を付けておられる。池田の池に菖蒲の花を見に行かれたり、マイントピアに芍薬を見に行かれる等、季節に応じて計画を立て外出されている。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 毎回のことですが、個人が自由に金銭を持っているいろいろなトラブルがありました。その都度、皆さん、ご家族、職員がいやな思いをします。入居者によって、個人でお持ちの方も居れば、ご家族との話し合いで職員側で管理し、出納の報告をする場合もあります。特に、ご不便をお掛けすることもなく推移しています。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご希望や状況に応じて、電話の取次ぎや電話される支援を行なっています。ご家族からもよく電話がかかりますので、取次ぎし椅子等に座っていただき、直接お話いただいたりもしています。手紙のやり取りも一部の方ではありますが自由にされています。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>共用空間は問題なく確保しています。自然光を取り入れながら、外の明るさに応じてブラインドや間接照明で調節を行なっています。自然が多く、窓からの景色も楽しめ、西側の窓から見える夕日は、入居者の皆さんがいつも「きれいねえ。」と喜ばれています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居間には、利用者が生けたミニバラが飾られていた。時には庭に咲いたお花を利用者が摘んで来られ、生けることもある。居間は、ソファでコーナーに区切り、テレビを見る方、新聞を読む方とそれぞれが過ごしやすいようにされていた。壁には利用者と職員で作ったちぎり絵等の作品を飾っておられた。窓からは、お天気や季節の移り変わりがよくわかる。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>テレビに面したソファやテーブルを配したソファ、小分けにすることも出来る食卓テーブルもあり、それぞれの場所でお話されたり、趣味を楽しまれたり、休憩されたりしています。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居室内の調度品は、ご自宅でお使いの物をお持ちいただくようお願いしています。入居者、ご家族によって様々です。物を沢山置かれている方もあれば、そうでない方も。しかし、ほとんどの方は、ご自分の気に入る状態で生活されていると思います。</p> <p>(外部評価)</p> <p>調査訪問時の昼食後、居室でちぎり絵をされている方がおられ「自分の部屋でいろいろ考えながら貼っていくのが集中できるから楽しい」と感想を話してくださいました。テレビや雑誌を見ながら過される方もおられる。鏡台、お気に入りの机等を持ち込まれている方もあり、又、ご家族の写真等も飾ってあった。管理者は、ご家族に「ご本人の昔の写真等を、もっと持ってきてほしい」と呼び掛けておられるところである。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>トイレへの移動をとっても、手摺を配したり、場合によっては目印や張り紙をして、分かりやすく安全に移動できるように配慮しています。しかし、現在の入居者さんにとっては、備品が近代的過ぎて、本当はもっと昔風なものがあれば理想なのかも知れませんが。</p>	